

当社の米国CO₂-EOR事業会社に対する株式会社国際協力銀行の出資について

各位

当社(社長:三宅俊作)は、株式会社国際協力銀行(以下「JBIC」という。)との間で、JBICがJX Nippon Oil Exploration (EOR) Limited(*1)(社長:田邊一夫)(以下「JX EOR」という。)が発行する優先株式(最大90,566千米ドル)を取得することに合意しましたので、お知らせします。

JX EORは、米国の大手電力会社NRG Energy, Inc.(以下「NRG」という。)との折半出資により設立した合弁事業会社を通じ、米国の火力発電所において二酸化炭素(CO₂)を回収し、このCO₂を利用して原油増産を図るCO₂-EORプロジェクト(*2)を推進しています。

本プロジェクトは、NRGが米国テキサス州に保有する米国最大の火力発電所に、石炭火力発電設備の燃焼排ガスからCO₂を回収する世界最大規模のプラント(*3)を建設し、回収したCO₂をJX EORが25%の権益を保有する老朽化油田に圧入・貯留することにより、原油の飛躍的な増産と大気中に排出される温暖化ガスの低減を両立させることのできる画期的なプロジェクトです。

本件合意により、JX EORは、大規模CO₂回収技術を活用した油田権益取得および開発事業推進への支援として、日本の公的金融機関であるJBICから約30%の出資を受け、官民一体の事業として本プロジェクトを推進します。

当社は、原油の増進回収を重点技術の一つと位置付けており、今後も新しい発想のもとで、地球環境と調和した事業展開に積極的に取り組んでまいります。

以上

(*1)JX EORは、当社が100%出資する米国法人JX Nippon Oil Exploration (U.S.A.) Limited(社長:田邊一夫)の100%出資により設立した米国法人です。

(*2)EORとは、Enhanced Oil Recovery(原油増進回収)の略語です。なお、本プロジェクトの詳細については、当社の2014年7月15日付ニュースリリースをご参照ください。(http://www.nex.jx-group.co.jp/newsrelease/2014/post_11.html)

(*3)本プロジェクトのCO₂回収プラントは、三菱重工業株式会社の米国事業会社である米国三菱重工業と米国の大手建設会社TIC(The Industrial Company)によるコンソーシアムが建設いたします。同プラントは、2016年第4四半期の稼働を予定しており、日量4,776トンのCO₂回収能力は、燃焼排ガスからCO₂を回収するプラントとしては世界最大となります。

【本件に関するお問い合わせ先】

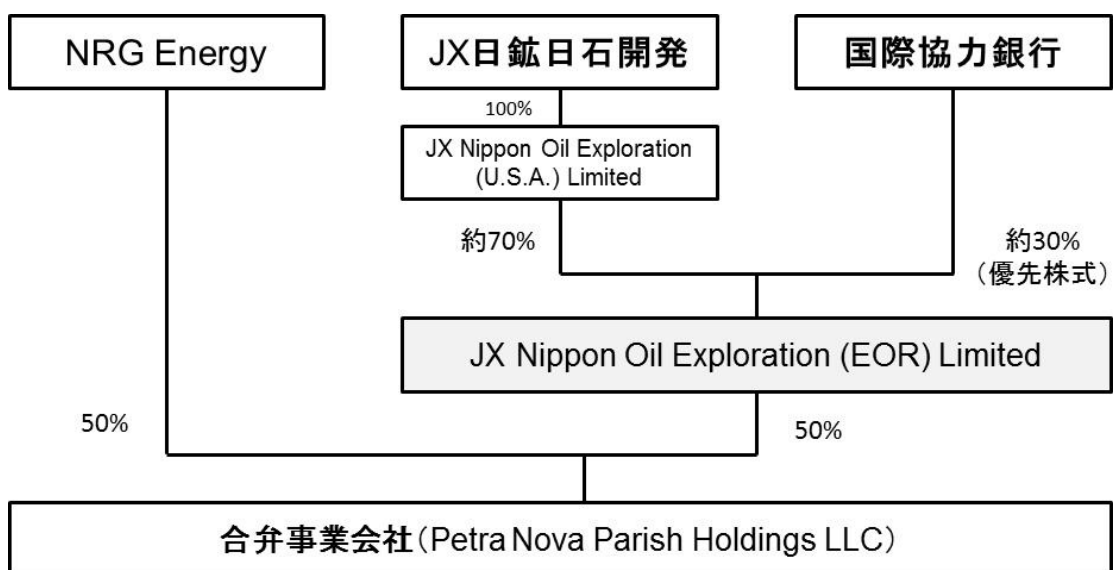
JX日鉱日石開発株式会社 総務部 総務グループ 〒100-8163 東京都千代田区大手町二丁目6番3号 TEL:03-6275-5241

【添付資料】

1. JX Nippon Oil Exploration (EOR) Limited の概要

- ・ 設 立 : 2013 年 5 月 17 日
- ・ 社 長 : 田邊 一夫
- ・ 所在地 : One Riverway, Suite 1600, Houston, TX 77056, U.S.A.

2. 国際協力銀行出資後の本プロジェクトのスキーム



以上